

科目区分：外国語科目（ドイツ語）

授業科目名	ドイツ語					学期	曜日	校時
英語名	German					前期	木曜日	2校時
担当 教官名	正岡 三一	単位数	1単位	必修 選択	必修	前期	木曜日	3校時
						後期	木曜日	2校時
						後期	木曜日	3校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>現代のドイツ語、英語、北欧諸国はヨーロッパの三大語系の一つである語派に属す。その中でも英語とドイツ語は同族語であり、姉妹語としての言語的な特性を持つ。英語も本来はドイツ語と同様に、綴りと発音は一致していた。だが、綴りだけは14世紀頃の姿が保持され、発音だけ独自の発展をしたが為に、両国語は大きく隔離した。ドイツ語は綴りと発音がよく一致しており、母音も子音も殆どサイレントになる文字がない。発音上でもドイツ語は英語よりも易しく、文法上においても英語の原形態を沢山残している。そんな両国語間にある類似性にも注目しながら、外国語としてのドイツ語の中級程度を目標にする。</p>								
テキスト、教材等								
<p>教科書は現在、鋭意選考中である。 参考文献等は適宜紹介する。</p>								
対象学生			成績評価の方法			教官研究室		
木 2 : D 1 6 木 3 : 2 E 5 ~ 7			定期試験、課題レポート、平素の学習成績、出席状況等を考慮して行う。					
授業計画								
<p>学生達が早くドイツ語の文法や文章に親しめるテキストを使用する予定である。文学作品や文法の解説だけでは授業中に外国語として英語と混同しがちなので、学生達に日常語として親しみ易い、内容のある、実用的なドイツ語も練習する。会話体の文もあり、基本文型も練習問題等で反復して、日常会話もドイツ人の吹き込みテープを使用することで自然になじめるものとする。</p> <p>具体的に言えば、動詞の現在人称変化、名詞の性と数、名詞・冠詞類・形容詞の格変化、助動詞、動詞の三基本形（不定形・過去・過去分詞形）過去人称変化、完了形などで、それらを一年間にわたって学びます。このような基本的な文法を学びつつ、ドイツ語の基礎的な語彙と表現パターンを習得することによって、読む、聞く、話す、書くの4技能の基礎力を養成します。また、ドイツ語が話されるドイツ語圏の社会的・文化的背景（ランデスクンデと言います）についても基本的な知識を得ます。</p> <p>質問受付時間は授業の前後もしくは授業前後講義室にて、もしくは非常勤皇室控室在室時</p>								